

## 福祉厚生常任委員会視察報告

### (社)しまね地域医療支援センター(出雲市)

地域医療と医師確保対策の現状を把握し、本町における医療政策のあり方について考察することを目的に、現地視察しました。

しまね地域医療センターでは、若手医師のキャリア形成をサポートすることを主な目的として本年3月に設立され、4月に運用を開始しています。地域で医師を育てる拠点施設として成果が期待されます。

- ・島根県の医師数は全国13位であるが、松江・出雲圏域に偏在する状況です。
  - ・医師確保の対策として。
    - ①島根に医師を呼ぶために、赤ひげバンク事業、地域勤務医師確保枠事業、医師確保チームによるアクティブプロジェクト事業など。
    - ②島根で医師を育てるために、奨学金制度、研修医等定着のための事業など。
    - ③島根で働く医師を助けるために、ドクターヘリの運航など。
  - ・しまね医療情報ネットワーク(まめネット)の取り組み。各医療機関が持っている情報を共有することで、病院間連携を密にすることが可能となり、医薬連携・周産期パス連携・在宅医療支援などに活用が期待されます。
- 本町からも前奥出雲病院事務長を派遣し、連携を図っています。



### 島根県立中央病院(出雲市)

ドクターヘリやヘリポートの施設見学、患者の搬送体制等を現地視察しました。



- ・島根県のドクターヘリ事業は平成23年6月13日に運行が開始され、全国的に見ても非常に多く利用されています。雲南地域は全体の30%を占め県下で最も多く、その中で本町の出勤実績は、運行開始から本年11月末までで119件となっており、今後ますます後遺症の軽減や救命率のアップへの貢献を期待するものです。
- ・中国5県ではドクターヘリの広域連携活動を築き、本年6月から運用を開始し、さらに利便性と救命率を高めているとのこと。

### 呉市役所

国保診察データを活用し、医療費適正化につなげている取り組みについて視察しました。

呉市は全国平均の1.46倍の高さがあった医療費を適正化するために、市の重点プロジェクトとして健康づくり推進を掲げ、生活習慣病予防を柱として成果をあげています。

- ・国保連が持っているレセプトデータを市に提供してもらい、
  - ①ジェネリック医薬品に変更した場合の試算を記載した推奨通知
  - ②レセプト点検のコンピューター化による人件費の節減
  - ③データ分析により重症化予防や重複頻回受診者への訪問保健指導など国保事業の円滑化・効率化に取り組んでいました。

本町においてもジェネリック医薬品への取り組みがなされていますが、重症化する病気への対応についても参考にしたいと思います。

